



多摩市立瓜生小学校

# 学校だより

【祝 開校20周年】

平成28年度 第13号

平成29年2月28日

## 言語能力の向上と挨拶

校長 鈴木 純一郎

23日（木）に東京都教育委員会・言語能力向上推進拠点校として、研究発表会を開催しました。当日は、全ての学級において、学級会の話し合い活動を公開し、本校の一年間の研究の成果を発表しました。

学級会の司会は、子供たちがグループで担当し、司会、副司会、黒板記録、ノート記録などの役割分担をして取り組みました。発達段階に応じて、教員が助けたり、アドバイスをしたりしますが、高学年になると、子供たちだけで話し合いを進めていきます。たてわり班の活動や、クラブ、委員会などでの話し合いの場でも学級会の経験は生かされます。

話し合う内容である「議題」はクラスごとに異なり、司会グループは担任教員と事前に打ち合わせをして、話し合いの見通しをもちます。その他の子供たちも前もって自分の考えを整理し、意見として発表できるようにして本番に臨みます。大勢の参観者が来校して緊張する中、子供たちは協力し合って話し合いを進めていました。

授業の後は、これまでの指導の様子や成果などについて、教員が報告しました。

6年生は、和太鼓の演奏を披露しました。全員で和太鼓を演奏し、大勢の方々に披露する機会は最後でした。真剣な態度で力強く演奏する姿に、たくさんの拍手と温かい励ましの言葉を参観者からいただきました。

「言語能力」の向上を目指して、様々な取り組みを試みてきましたが、子供たちが人前で自分の考えを述べたり、友達の話をよく聞いて、自分の考えと比べながら話したりする力は、確実についていきます。

ただし、今年度の学校評価において、「自分から挨拶ができる子供が少ない」とのご意見をいただきました。登下校時の実態では、保護者や地域の方々、教職員に対して自分から気持ちよく挨拶ができる子供は限られています。出会った時の挨拶は、人と人とが会話を始めたり、人間関係を築いたりする際、最も大切にしたいマナーです。よい手本が学校全体に広がるように、継続して指導をしていきます。



のど自慢集会の様子



スキー教室2日目(5年生)



和太鼓の演奏披露(6年生)

- <挨拶・返事> 自分から気持ちよい挨拶や返事をしましょう。
- <優しい言葉> 優しく心が温まる言葉づかいで話しましょう。
- <学習・読書> 家庭での学習や読書の時間を決めて取り組みましょう。
- <親切な行動> 親切な行動、助け合いを毎日欠かさず実行しましょう。